

## 学びの可能性を広げるために

●現在、西原中では一人につき一台のタブレットパソコン（以下タブレットと表記）が配備され、そのタブレットを活用した学習に取り組み始めています。

●「GIGA（ギガ）スクール構想」という言葉を耳にされた方もいらっしゃるかと思います。子ども達が、一人につき一台のタブレットをできるように学校に配備し、高速大容量の通信ネットワークを整備することを指しており、その構想に基づいての取組です。

●このタブレットの活用を通して、各教科の「調べ学習」はもちろんのこと、個別に学習に取り組んだり、協働して互いの意見を交流したりする活動がスムーズにできるようになります。

●また、今後はタブレット活用を、学校内にとどまらず、家庭にも広げていく予定です。

●来月を目途に、全ての生徒にタブレットを定期的に貸し出し、まずはネットにつながらない状態で家庭学習に活用することを考えています（その際は、改めてお知らせします）。

●各教科などの学習内容をより深く理解したり、理解したことを普段の生活に生かしたりできるようにタブレット等の情報機器の効果的な活用のあり方をこれからも研究していきます。

●そして、身の回りの様々な情報から必要なものを選んで整理しながら、筋道を立てて物事を考えたり、問題を解決したりする力を育てていきたいと考えます。



●西原中学校PTA、そして一部を西原中学生徒会によって改訂された「通信機器の利用に関する西原中家庭教育宣言」が配付され、ご家庭での指導に生かされていると存じます。

●便利なはずである機器が、そしてその機器を利用したSNS（特にLINE等）がかえって子どもたちの成長を阻害する要因となってしまっは元も子もありません。

●大切な子どもたちを危機から守るために、「宣言」に示されている項目、特に使用時間に関することや「通信機器を利用した通信の内容は、いつでも保護者が確認できるようにする」こと等についてご確認のうえ、全てのご家庭でご指導いただきますよう改めてお願いします。



## 阿蘇郡市中体連大会について

●コロナの影響で昨年度はできなかった「阿蘇郡市中体連夏季大会」が、今年は実施される予定です。6/26（土）、27（日）に多くの競技が実施されます（空手は7/3（土）に実施されます）。

●本校の運動部活動も、この中体連大会に向けて一段と気持ちを込めて練習に取り組んでいる様子が伝わってきています。

●大会開催にあわせ、阿蘇郡市で「新型コロナウイルス感染拡大防止のガイドライン」が作成されました。「大会参加者は当日の2週間前から検温を行う」「当日37.5度以上の発熱または倦怠感や咳などの症状がある場合は参加できない」などの項目が定められています。また、保護者の参観・応援については以下の基準が設けられましたのでお知らせしておきます。

県リスクレベル	参観・応援	備考
5	無観客	記録・緊急対応のため、各校から3名の保護者の入場を認める
4	屋内競技：選手1人につき同居家族2名まで 屋外競技：制限無し	1人1人の応援エリアを明確にするなど、密を避けるための工夫をする
3	各競技ガイドラインに準ずる	レベル4に準ずる

## 通信機器の利用に関して

●上に記したように、情報・通信機器には便利な点が多くありますが、あくまでも道具ですので、使い方を誤れば、様々なトラブルが発生します。

●「ネットでのいじめ・人間関係の悪化」「個人情報流出」「生活リズムの悪化」等、悪い影響を及ぼす可能性があります。（右上に続きます）